
Infinite Loop - Dreams and Reality -

雷稀

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Infinite Loop-Dreams and Reality

【Nコード】

N0438V

【作者名】

雷稀

【あらすじ】

無限ループに囚われた、悲しい物語です。

(前書き)

初の英語のタイトルです。
解説は後ほど。

それでは、どうぞ。

目が覚めるとそこは、真つ暗な部屋だった。
いや、部屋なのかすら分からない。ただ、自分の体さえ見えないよ
うな暗闇が、体に纏わりついていていただけ。
床はある。固く無機質なその質感に、今は安堵を覚えた。
どこなのだろう、ここは。いつもの部屋で、いつも通り眠ったはず
なのに。

辺りを見回しても、得られるのは暗闇という情報だけ。
壁は？出口は？
求めるものは得られなかった。

これは夢の続きなのだろうか。きっとそうだ。悪夢の続きなんだ。
夢だと割り切ると、何故か勇気が湧き出てくる。
四つんばいで、床を這い回った。無機質な床は、相変わらず冷たい。
やがて、何か固いものに頭をぶつけた。
触ってみると、床と同じく、とても冷たい。

闇は相変わらず闇のままだ。こいつらは一体、光と言うものを知っ
ているのだろうか。

目の前の固い何かを触り続けると、不意に想像したくない物が頭を
よぎる。
檻、だ。
均等に並んだ、冷たい棒。決して体が通る事のない隙間。
暗闇にあるこれは鉄格子なんだ。

ああ、悪夢だ。目が覚めたらきつと気分が悪くなるに違いない。
幸せな家庭、暖かいベッド。

幸せあるからこそ、きつと疲れが溜まってこんな悪夢を見るんだ。
鉄格子に寄り掛かり、夢が覚めるのを待った。

「おい、起床だ」

光と共に入ってきたのは、看守の服を纏った男。

今まで自分が居た室内が照らされる。

狭く、窓のないコンクリートの部屋。そこに佇む鉄格子。

ああ、また悪夢が始まる。

夢と現実の世界が逆転してから、もう五年が経っていた。

(後書き)

読んでくださり、ありがとうございます。

今回、初の英語のタイトル。

「Infinite Loop-Dreams and Reality」

読み方は「インフィニット ループ・ドリームス アンド リアリテイ」

直訳は、「無限ループ・夢と現実」になります。

夢と現実が逆転してしまった物語。この人は、夢を現実、そして、現実を悪夢だと思っっているのでしょうか。

夢から覚めた現実から目をそらし、毎朝同じ事を繰り返していることでしょうか。

5

性別を特定できる一人称を使わなかったのは、故意にです。

説明できるほどのはっきりとした感情ではありませんが、何故かそうしたくて。

読者様ひとりひとりが、個々に解釈していただけたら嬉しいです。

この小説は、もしかしたら自己投影してるのかもしれませんが。

でも、辛い現実と向き合っこそ、幸せな結末が待っているんですよ。

幸せな夢物語だけでは、刺激が無くてつまらないものです。

それでは、失礼いたしました。

感想・アドバイス等ありましたら、よろしく願います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0438v/>

Infinite Loop - Dreams and Reality -

2011年10月9日00時41分発行